

出向者通信



No.15

2022年1月26日

J R 東海労働組合

何度「出向解除」を繰り返すのか!?

前代未聞！出向先から本人に直接通告！

1月25日、出向先で見習いについていた新幹線関西地本の西三喜夫さんに対して、出向先の（株）エムティの副社長が「西さんの出向を解除したい。JR東海にも出向解除を申し出る」と直接通告してきました。エムティは出向を解除したい理由を「（新幹線関西地本からの）団体交渉申し入れについては、社長や専務が時間がとれないからできない。人が余っているから」と明らかにしています。

社員の人生をもてあそぶな！

昨年10月以降、出向を通告した組合員に対し、事前通知直前での出向取り消し、出向先面談実施後の出向取り消し、いったん出向先に赴任後の出向取り消し、直近では、事前通知を受け最終乗務の日に取り消しを通告された大阪運輸所分会の前田稔さんと、会社は「出向解除」を繰り返してきました。

出向に行きたくない意思表示しているのに「あなたの出向先です。面談に行ってください」と通告し、挙げ句の果てに「出向は先方の都合でなくなりました」こんな杜撰なやり方がありますか！社員の人生、生活設計をもてあそぶんじゃない！いい加減しろ！

西さんの事例で改めてわかったことは、会社は団体交渉に応じられない企業を出向先に選んだということです。つまり、54才原則出向を経営立て直しのために、ジャマな社員を放逐する手段に使ったということです。

同意のない強制出向はやメロ！

西さんを大阪第一運輸所に戻せ！

本日、中央苦情処理会議で会社に抗議！